



# 平成12年度 決算報告

# 南国市の家計簿

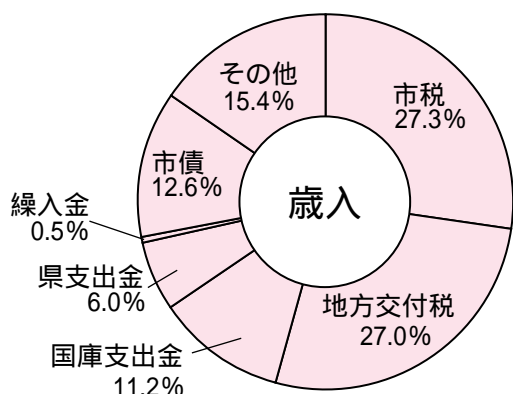
皆さんが納めた税金は、この一年間でどのように使われたのでしょうか。市の家計簿の収入と支出をお知らせします。

## 総括

「実質収支1億8千250万5千円の黒字。しかし、市債残高が330億に達し、一層厳しい財政状況」

南国市普通会計の決算状況は、歳入が207億604万7千円、歳出は200億9千651万円で、歳入歳出差引額は6億953万7千円となり、翌年度への繰越事業の財源4億2千703万2千円を除くと1億8千250万5千円の黒字となりました。

平成12年度は、介護保険制度の導入に伴い特別会計が設けられたことにより決算内容に大きな変化が見られました。また、市の借金である市債は、一般廃棄物最終処分場整備事業にかかる市債の発行などにより、残高は330億円に達し、財政状況はより一層厳しい状況を増しています。



## 歳入の状況

市税	56億 5,724万 5千円
地方交付税	55億 9,084万 8千円
国庫支出金	23億 1,542万 9千円
県支出金	12億 3,550万円
繰入金	1億 325万 1千円
市債	26億 1,080万円
その他	31億 9,297万 4千円
計	207億 604万 7千円

## 市民の税負担は？

一人あたり 110,033円

固定資産税	55,412円
市民税	44,197円
たばこ税	8,041円
軽自動車税	1,876円
その他	507円

一世帯あたり 278,467円

固定資産税	140,233円
市民税	111,851円
たばこ税	20,351円
軽自動車税	4,748円
その他	1,284円

\*上の数字は、南国市の人口50,005人、世帯数19,759世帯（H13.3.31現在）で計算したものです。

## 歳入

「景気低迷の影響などにより、市税収は6年ぶりに減少」

歳入総額は、207億604万7千円で前年度決算額に比べて5.0%、10億9千393万4千円の減額となりました。

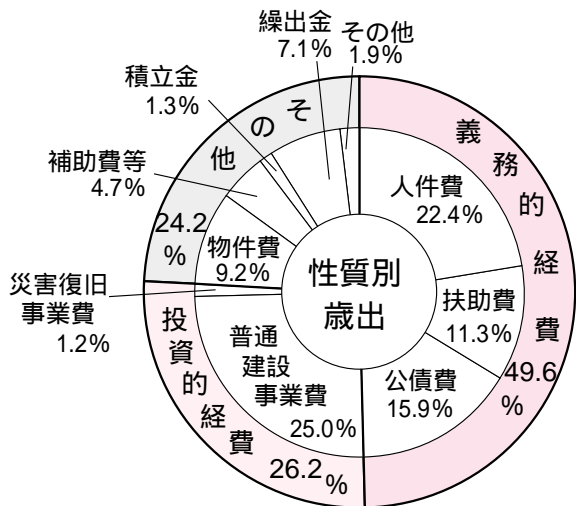
主な内容について、市税は、恒久減税や景気の低迷による個人・法人市民税の減や評価替による固定資産税の減などにより平成6年度以来、6年ぶりに対前年度比3.1%、1億7千977万4千円の減額となりました。国庫支出金は、介護保険円滑導入臨時特例交付金及び地域振興券交付事業がすべてなくなり、

介護保険制度の始まりによる老人福祉関係費、並びに災害復旧費負担金の減により対前年度比33.9%、11億8千812万5千円の大幅な減額となりました。

また、県支出金は、災害復旧費負担金、山村振興等農林漁業特別事業費補助金の減により25.0%、4億1千132万円の減額、市債は、一般廃棄物最終処分場整備事業の本体工事の着手によって発行額が33.1%の伸び、6億4千930万円の増額となりました。



# 基金繰入を抑制し、基盤整備のため投資的経費の大幅な増を図る



性質別歳出の状況

義務的経費	99億 6,164万 9千円
人件費	45億 191万 3千円
扶助費	22億 6,838万 8千円
公債費	31億 9,134万 8千円
投資的経費	52億 7,179万 1千円
普通建設事業費	50億 2,062万 9千円
災害復旧事業費	2億 5,116万 2千円
その他	48億 6,307万円
物件費	18億 4,668万 4千円
補助費等	9億 4,863万 5千円
積立金	2億 5,750万 8千円
繰出金	14億 2,777万 2千円
その他	3億 8,247万 1千円
計	200億 9,651万円

歳出総額は200億9千651万円で前年度決算額に比べて5.9%、12億4千925万2千円の減額となりました。

性質別歳出の状況は、義務的経費のうち、人件費は対前年度比5.2%、2億4千566万3千円の減額となりましたが、これは退職手当、期末勤勉手当、介護保険特別会計移行分人件費などの減額がその要因です。

扶助費は、介護保険制度開始による老人保護措置費、デイサービス事業費などの減により21.7%、6億2千921万2千円

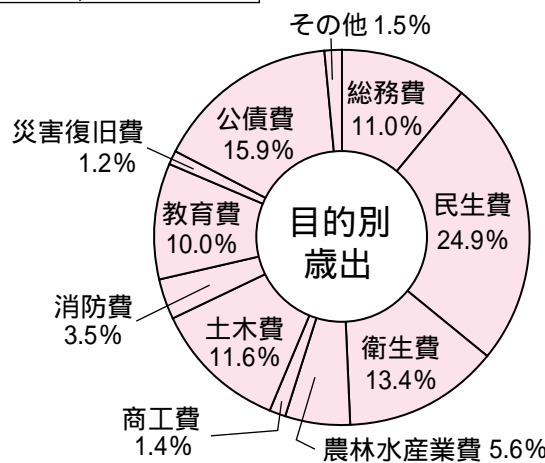
の大幅な減額となっております。投資的経費のうち普通建設事業費は、一般廃棄物最終処分場整備事業本体工事の着手により30.0%、11億5千771万4千円の大増額、物件費は、財務会計システム導入に伴う委託料、使用料などの電算運営管理事業費の増がその要因となり5.7%、1億11万2千円の増額となっております。

積立金は、介護保険円滑導入基金積立金や財政調整基金積立金の減により73.2%、7億468万1千円の減額となりました。

**歳出**  
「介護保険制度の円滑導入、廃棄物処理対策に重点を置く」

目的別歳出の状況

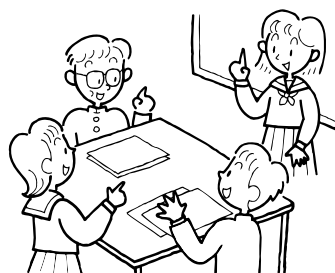
総務費	22億 829万 8千円
民生費	50億 1,489万 7千円
衛生費	26億 9,136万 7千円
農林水産業費	11億 1,991万 3千円
商工費	2億 9,285万 4千円
土木費	23億 3,226万円
消防費	6億 9,771万 8千円
教育費	20億 266万 7千円
災害復旧費	2億 5,116万 2千円
公債費	31億 9,136万 5千円
その他	2億 9,400万 9千円
計	200億 9,651万円



**用語解説**

**普通会計**

一般会計・住宅新築資金等貸付事業特別会計・土地取得事業特別会計の合計額から、繰り入れや繰り出しなど、会計間の重複額を控除した統計上の会計区分です。



「基金」というのは、私の家という「貯金」のようなものだったわよね。

